

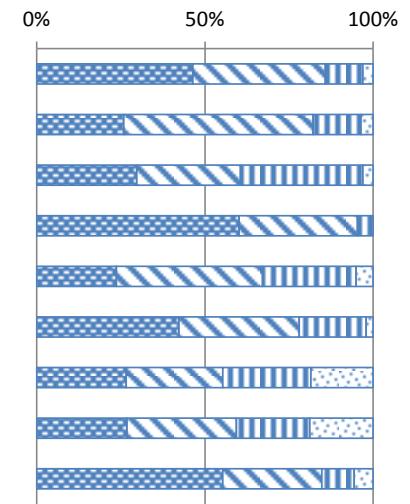


7月に実施いたしました学校評価の集計をお知らせいたします。学校評価にご協力いただき心からお礼申し上げます。集計・結果と主な考察を掲載しましたのでご一読いただきますようお願いいたします。今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



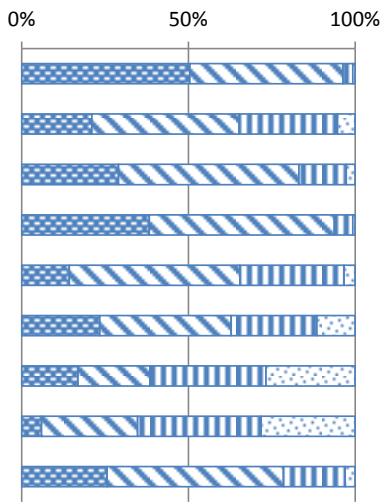
児童による回答

1	学校は楽しいですか。
2	自分からすすんで学習しようとしていますか。
3	学習で分からなことがありますれば、先生に相談できますか。
4	友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	話をしっかりと聞き、考えて、自分の意見を言うことができますか。
6	家ですんで宿題や学習をしていますか。
7	学校でも家でも、よく本を読んでいますか。
8	いじめ対策委員のメンバーなど担任の先生以外に相談できる人がいることを知っていますか。
9	友だち関係などで困ったことがありますれば、相談できる人(先生や友だち等)がいますか。



保護者による回答

1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。
2	お子さんは、自らすすんで学習しようとしていますか。
3	子どもの学習について、担任に気軽に相談できますか。
4	お子さんは、友だちや周りの人を大切にしていますか。
5	お子さんは、話をしっかりと聞き、自分の意見を発表することができますか。
6	お子さんは、家で進んで宿題や学習をしていますか。
7	お子さんは、家でよく本を読んでいますか。
8	学校は、いじめ対策委員会を設置して、組織的に対応していることを知っていますか。
9	子どもの友だち関係などについて、教職員に気軽に相談ができますか。

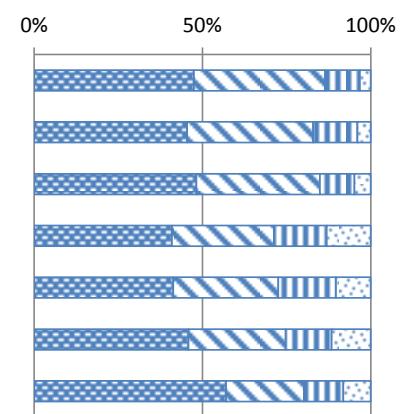


教職員による回答

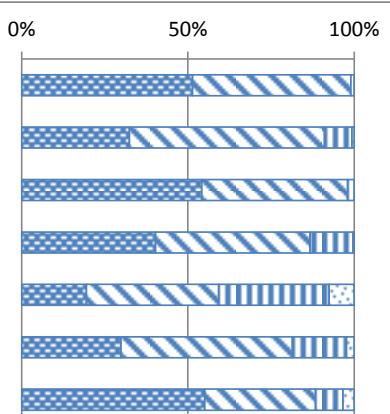
1	子どもが楽しく取り組み、達成感をもてる活動を意図的に行ってていますか。
2	一人一人が主体的に力をつけられる授業を工夫していますか。
3	子どもや保護者の思いを受け止め、相談にのっていますか。
4	一人一人を徹底的に大切にし、児童同士が互いに認め合うことができる学級づくりを行っていますか。
5	子どもたちに「話す・聞く」という学習の基本ルールを身につけられるように指導していますか。
6	家庭学習への働きかけや宿題の出し方の工夫を行っていますか。
7	本の楽しさに気づかせ、読書好きな子になるように指導していますか。
8	学校いじめ防止基本方針の内容を理解し、組織的な対応に努めていますか。
9	児童や保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有していますか。



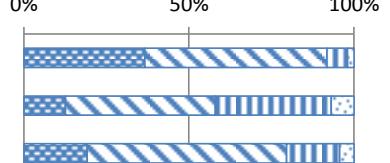
10	学校などの約束やきまりを守っていますか。
11	先生や友だちに対して、言葉づかいに気をつけて話していますか。
12	自分から「おはよう」のあいさつや、「ありがとうございます」などの感謝の言葉を言うことができていますか。
13	「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活ができますか。
14	家で自分の役割やお手伝いをしっかりとしていますか。
15	家で学校や学級のことについてよく話をしますか。
16	安全に集団登校で学校に通っていますか。



10	お子さんにきまりを守る大切さを教えていますか。
11	お子さんに時と場に応じた言葉づかいができるように話されていますか。
12	お子さんにあいさつや、「ありがとうございます」などの感謝の言葉を自分から言うようにお話しされていますか。
13	お子さんに「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身につくようにしていますか。
14	お子さんに家の役割(手伝い)を決め、実行させていますか。
15	お子さんと学校や学級のことについてよく話をしていますか。
16	お子さんが時間を守って集団登校で学校に通えるようにしていますか。



17	学校は、学校だよりやホームページなどいろいろな取組を保護者の方に伝えていますか。
18	学校行事やPTA行事、地域行事にすすんで参加していますか。
19	学校は、家庭や地域と連携して、「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。



項目4「友だちや周りの人を大切にしていますか」という設問に対して、「そう思う」と「大体そう思う」と答えた児童の割合が全体の約91%となっていて、前年度と同じく高い結果となりましたが、約9%の児童が「あまりそう思わない」という結果でした。項目9「困ったことがあれば相談できる人がいますか」という設問では、「あまりそう思わない」「そう思わない」という否定的な回答をした児童が約16%いました。困ったときに誰かに伝え、助けてもらえる安心感はどの子にとっても、いきいきと活動するために、なくてはならないものです。我々教職員が一人一人を大切に見取ること、児童が共に助け合い、高まり合える学校づくりを進めることができると考え、取組を進めていきます。

項目7「よく本を読んでいますか」という設問に、児童による回答と保護者による回答に開きが見られました。家では児童はあまり本を読んでいないのではないかと考えられます。小学生の感受性豊かな時期に活字に親しんでおくことはとても大切です。本を自然に手に取れるように、読み聞かせや魅力ある学級文庫の配置、読書週間などの取組を進めています。読書の秋とも言います。お忙しいとは思いますが、お子さんと本を手に取り、一緒に読書を楽しむ時間を持つてみてはいかがでしょうか。

項目8「いじめ対策委員会について知っていますか」という問いに、「そう思う」と「大体そう思う」という肯定的な回答は児童で約61%、保護者では約35%と

学校では、今年度から「いじめ対策委員会」のメンバーとその目的を朝会で全校児童に伝えることにしました。担任や学年の先生だけでなく、どの先生にも困っていることを相談できるように体制を整えています。そして、「いじめを許さない」という意識をどの児童も同じようにもてるよういじめ問題に真摯に向き合っていきたいと考えております。ご家庭、地域におかれましても、気になることがありますれば、すぐに学校にお知らせください。多くの目で子どもたちをいじめから守れるようにご協力をお願いします。

項目12「あいさつや感謝の言葉を言うことができますか」という設問に対して、児童のおよそ85%が「そう思う」「大体そう思う」と回答していました。また、保護者への「自分から言うようにお話ししていますか」という設問には98%が肯定的な回答でした。いつもあいさつをしている児童がいる一方で、なかなか自分からあ

いさつは人と人とのつなぐ第一歩であり、とても大切なものです。自分から相手との良好な関係をつくるように、自然にあいさつや感謝の言葉が言えるようになってほしいと願っています。児童の周りにいる大人がお手本となり、あたたかい雰囲気の中で自然に児童からあいさつや感謝の言葉が出来るよう、みんなで育てていきたいと思っております。

学校運営委員会においてもご討議いただき、「大きな声で目を見てあいさつする子は犯罪に巻き込まれにくく。」「遅い時刻に一人で登校する子は危険に巻き込まれやすくなる。」「登下校時の自動車の送迎、停車が通行の妨げになり、交通安全上も問題である」等のご意見をいただきました。

これらの評価結果やご意見をこれからのお子さんたちの教育にいかしていかないと考えております。今後ともご協力のほど、どうぞよろしくお願いします。

なっていて認知度がまだ低いことがわかります。

いさつができない児童もいます。